

いきいき業者婦人



いどばた

第41回総会 No.14

(発行) 静岡市駿河区泉町 7-12-8 松山ビル 2F
Tel.054-283-8885 Fax.054-286-5263
静岡商連婦人部協議会



第6回県業者婦人商工交流会を開催！ 業者婦人の「わたしの生き方」に共感と感動

11月3日、2016年(第6回)県業者婦人商工交流会を開催、県内13民商と県連から71人が参加しました。今年の実行委員会でドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」で思いやり予算について学習しようという決意、昨年よりも多くの参加を目標に、広く宣伝し呼びかけました。子ども連れの参加も例年より多く、学童保育の先生の下、7人の子どもたちも工作などに取り組みながら1日楽しく過ごしました。

やっぱりおかし

「思いやり予算」

映画「ザ・思いやり」は、アメリカ人のリラン・バクレーさんが、英語講師として20年以上日本で暮らす中で、始めに「なぜ日本に米軍基地があるのか？」との疑問から、沖縄の新基地建設反対の行動で「思いやり予算を被災地支援に回し」という訴えを聞き、さら



に思いやり予算について疑問を持ち、調べていくうちに在日米軍を支える費用として、日本が年間約9000億円を費やしていること、新航空基地費用のほかにアメリカ兵の住宅、学校、遊園費、水光熱費に使い放題であること、さらにアメリカ兵が日本で起こした事件や事故の被害者への賠償金にまで使われていることに、「何だこの事実は!! 日本人は知っているのだろうか!?」と驚き、監督として制作した映画です。

出来ました。

午後の交流討論や感想文には「思いやり予算と今まで耳にしていたても、深く考えることが無かった。映画を観て改めておかし」と憤りを感じた。今日参加できなかった仲間にも知らせたい、「嫌な内容でも楽しく観ることができた。税金は本当に被災地復興や貧困でいろいろなことを諦めている子どもへの支援に使ってほしい」、「インタビューで、アメリカ人をはじめ外国人も『おかし』と話していた。日本人がもっと問題意識をもつて無くしていかなければいけない」などの声が寄せられました。

業者婦人として

「私の生き方」感動と共感

会場からも多くの発言

業者婦人「私の生き方」として、今年は沼津の安藤悦子さん、浜松の柳澤志江さんのお二人に発言していただきました。

沼津民商 安藤悦子さん

沼津市の少年自然の家で23年間給食を提供してきました。子どもの数が減り、近くに新しい施設もできたため、利用者も当初の頃に比べると4分の1近くに減ってしまい、沼津市として28年度の運営はやむなく閉鎖、その後は民間の業者に渡すことになりました。23年もの長い間、この仕事が出来たのは子どもた



ちの「美味しかったよ」「お腹いっぱい、ご馳走さま！」の言葉と笑顔に支えられています。施設の大変感謝をしています。施設の周りには石仏や馬頭観音さんがたくさんあります。仕事の合間を見ては手を合わせるようにしていました。23年間の商売、何事もなく健康にも恵まれ、最後まで成しえることができたのも石仏や観音さんのおかげだと思います、最後の日には周りを清掃し、線香をあげてきました。

営業は10月いっぱい終了し、仕事は完全にやめ、今は何もしていません。民商の活動に参加しながらこのままもう年金で暮らしていこうかな、これからは好きなことをして過ごせれば良いなと思っています。

浜松民商 柳澤志江さん

仕事はブティック兼、注文服の仕立てなどです。洋裁が好きでこの道に入りました。戦後70

年のこんにち、私は78歳で現役で継続しています。振り返ること58年前、20代の頃は妹たちや友達と洋服を作ったりしていましたが、そのうち本格的に縫製の仕事をしようになり、30代で知り合いの紹介で浜松にあったデパートの洋装店の外注として洋裁の仕事をするようになりました。当時は注文服が主流で月最高25着を仕上げたことが認められ、縫製部の方に招かれ、住み込み、通勤などで働く25名前後の人たちを相手に採配を任せられ、昼夜問わず月100着前後の製図、裁断、仕上げ、点検などをこなして、今なら労基法で問題になります。その当時はそれが当たり前でした。

そのうち根気よく働いていた縫い子さんたちも1人、2人と辞めていく中、徹夜続きだった私もとうとう限界が来て倒れてしまいました。10ヵ月ほど入院して帰ってきました。だが、今度はお店の方でデザイン、販売の方に回され、そこで気づいたことは「世の流れは注文服から製品のほうへ移りつつある過渡期」だということでした。そこで売上の貢献度などもあり、プラス夜間の縫製部の仕事も抜けられず、仕事漬けの日々を過ごしているうち、40代近くになった頃、デパート内で撤去する店が相次ぎ、私のいた支店も本店に移ることになりました。その時、なぜかホッとして「この先、どうしようか」とのんびり考えていました。そんなある日、知り合いの方から今は亡き主人を紹介され、その後、3人の子どもたちとの出会いもあ



現在の鴨江に転居しました。それからしばらくしてから、なかなか出店する勇氣も自信もなく弱気心でいたとき、主人から「やってみなくちやわからん」と喝を入れられ、夢だった自分の店をやつとオープンする運びになったのです。

小さな店ですが40代半ばでも開店当時の店は輸入生地からのオーダーメイドが主で、キャッチフレーズとして「お痩せな方からゆつたりサイズの方までオリジナルの1着を」でした。幸い腕の良い仕事仲間にも恵まれ、若さと勢い、そして家事との両立で多忙に明け暮れているところ主人の勧めで民商に入会しました。そこで中小業者の心構えや計算、経営力などを勉強して、自分の立場や特に申告のアドバイスなどもいただき、おかげ様で安心して働くことが出来ました。そして借入金や住宅ローンの返済も主人と二人三脚で、60代半ばで完済することができました。

紆余曲折の狭間で入退院を繰り返していた主人が足腰が心もとなくなってきた、余裕のあるうちと思いい店の2階をリフォームし長男たちに助けられながら、やっと安堵の暮らしを手に入れた2年後、主人の

要介護認定に伴い通所介護が始まりました。長男たちの協力を受け私は71歳で車の免許を取ることができ、リハビリ施設への送迎など役立てることができ良かったです。

必要に応じていろいろなことに私なりにチャレンジしてきた人生でした。誰にも優しく誠実で気苦労の絶えなかった主人も83歳で逝去し4年になります。主人が繋いでくれた民商のみなさんとの交流は楽しく、あとの位生きられるか分かりませんが、個人店ならではの良さを活かし、来てくれるお客様のニーズに合わせての営業と民商の活動を細々でも続けていきたいです。



お二人の発言後、会場の参加者にも商売や自分の人生について発言を求めました。突然の指名にも関わらず皆さん自分が普段感じている



回、男性事務局長も数人参加し、小笠掛川民商の川田博樹事務局長は「みなさんの発言を聞いていて、商売の事だけでなく自身の人生について語っていることに驚いた。男性会員の集まりではなかなかこうはいかない。業者婦人ならではの交流会だなと改めて思いました」と感想を語ってくれました。

展示即売、体験コーナーも大盛況

参加者が毎年楽しみにしている展示即売、体験コーナーも大盛況でした。お馴染みの清水民商婦人部の金山寺みそから、ストール、スモークチーズ、フェルト小物、ブルーベリー、無花果、レモンのジャム、こんにゃく、陶芸品など手作りのものがたくさん並び、味見をして「美味しい！」と感想を言い合ったり、家族へのお土産を選んだりとても賑やかな時間を過ごしました。

清水民商の柴田章子さんが販売する下着や、「髪を育てるシャンプー」も並び、参加者が興味津々に体型や髪の悩みなどを質問したりしながら交流しました。体験コーナーは静岡民商の中山和子さんの「カイロプラクティックに

ことや、夫と結婚し商売に携わるようになったきつかけなどを語ってくれました。今回、男性事務局長も数人参加し、小笠掛川民商の川田博樹事務局長は「みなさんの発言を聞いていて、商売の事だけでなく自身の人生について語っていることに驚いた。男性会員の集まりではなかなかこうはいかない。業者婦人ならではの交流会だなと改めて思いました」と感想を語ってくれました。



また、昨年に引き続き行った「寄せ植えコーナー」では、今年も人気の「苔(コケ)」のミニテラリウムに挑戦。コケで見立てた小さな大地に、小さなキノコや動物を配置し小さなジオラマを作りました。計画的に慎重に植えていく人とそうでない人、「性格が出て面白いね！」とお互いに笑いながら交流しました。川島文江県婦協会長は、今年も体験コーナーが少なかったため、コーヒー、紅茶とお菓子を提供するコーナーを設置、これが参加者に大受けし、コーヒーと清水民商会員のサッカー饅頭が飛ぶように売れました。



また、昨年に引き続き行った「寄せ植えコーナー」では、今年も人気の「苔(コケ)」のミニテラリウムに挑戦。コケで見立てた小さな大地に、小さなキノコや動物を配置し小さなジオラマを作りました。計画的に慎重に植えていく人とそうでない人、「性格が出て面白いね！」とお互いに笑いながら交流しました。川島文江県婦協会長は、今年も体験コーナーが少なかったため、コーヒー、紅茶とお菓子を提供するコーナーを設置、これが参加者に大受けし、コーヒーと清水民商会員のサッカー饅頭が飛ぶように売れました。

前号の「全婦協総会代議員の感想」続きます

小笠掛川 植田真由さん

全国各地から頑張っている姿と発言に力もらいました。大変な思いをしながら活動している話は、自分のところの経験から『そうだ、そうだ!』と思うことが多く、みんな同じ思いで活動していることがよく分かりました。それでも少しも変えていこうと努力している姿には、見習うことが多かったです。手作り手芸教室やお誕生日のハガキなど、自分たちの婦人部でも取り入れることができる活動も、やれることからやっつけていきたいと思いました。

磐田 渡辺尚美さん

他県の取り組みや拡大の方法、お条廃止をめざす請願のことなど、参考になることがたくさん聞けて勉強になりました。夜はみんなで部屋に集まり少しお酒を飲みながら交流し、とても楽しかったです。

浜松 杉本正枝さん

分散会で愛知の名古屋西部民商の拡大の様子が参考になりました。拡大リレーの取り組みがすごいと思いました。全体では美味しい料理も食べて、会場も移動があまりなく、足が痛くて少し心配だったので良かったです。

